



2025年5月8日

各位

会社名 ダイトウボウ株式会社
代表者名 取締役社長執行役員CEO 山内 一裕
(コード: 3202 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役専務執行役員CFO 三枝 章吾
経営管理本部長
(TEL 03-6262-6565)

繰延税金資産の取崩しおよび業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2025年3月期決算において繰延税金資産を取り崩すこと、および2025年3月期通期(2024年4月1日~2025年3月31日)の連結の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は税務上の繰越欠損金の繰越控除期限切れが見込まれることから、今後は每期法人税等の納税負担が増加する見込みであることを踏まえて将来における繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、2025年3月期決算において、繰延税金資産を63百万円取崩し、法人税等調整額66百万円を計上することといたしました。

2. 業績予想と実績との差異

(1) 2025年3月期通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,300	390	180	110	3.64
今回実績 (B)	4,106	315	121	54	1.83
増減額 (B-A)	△193	△74	△58	△55	
増減率 (%)	△4.5	△19.1	△32.3	△50.0	
前期実績 (2024年3月期)	4,033	318	139	153	5.07

(2) 差異の理由

主に、ヘルスケア事業において長引く暖冬の影響を背景に販売増加を見込んでいた冬場における健康ビジネス部門および一般寝具の引き合いが予想を下回ったことに加え、ヘルスケア事業において計画外で長期在庫評価損17百万円を計上したことが響き、営業利益におきまして前回予想を74百万円(うちヘルスケア事業が63百万円)下回りました。これに、営業外損益におきまして支払利息の減少や受取配当金の増加等で16百万円の改善効果があったものの、経常利益は前回予想を58百万円下回りました(前回予想比32.3%減)。この結果、当期純利益におきましては、前回予想を55百万円下回りました(前回予想比50.0%減)。

以上